

平成28年度 西之表市体育協会表彰

平成28年度西之表市体育協会表彰式を行いました。これは、市のスポーツ振興にご尽力頂いた個人、団体に贈られるもので、今年度は4名の個人及び1団体に對し、社会体育功労者賞、優秀選手賞、奨励賞が授与されました。



社会体育功労者賞

・野平 道実さん
(柔道連盟)

優秀選手賞

・羽生 功生くん
(榕城小6年)

・中島 栗さん
(下西小5年)

・柳 賢士朗くん
(榕城小4年)

奨励賞

・Super45's
(軟式野球連盟)

鹿児島大学長が 市長を表敬訪問しました

全国でも地方創生の動きが進む中、本市においても様々な活動が始まっています。

その中、市では東京大学や東北大学、京都大学などの大学と連携したエネルギーや健康・医療の研究やインターネットシップの受け入れ等が実施されています。一方で、鹿児島大学は平成26年より、国の「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」に採択、また平成27年度からは、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」にも採択され、今後県内他7大学とも連携していきます。

現在は、鹿児島国際大学と地域振興、国際化、健康福祉の分野で包括連携協定を結んでいます。今回の来訪を機に、鹿児島大学とも一次産業の振興や高等教育において連携等の可能性が生まれています。今後は、ともに市の課題解決に取り組んでいきます。



バイオディーゼル燃料製造 装置実証開始セレモニー

10月30日、NPO法人「こすも」(中割校区万波)で、バイオディーゼル燃料製造装置の実証開始セレモニーが行われました。

これは、北川准教授(東北大学)が技術開発した世界初のシステム。イオン交換樹脂を触媒に、原料となる廃食用油(てんぷら油)から軽油の代替となる高品質の燃料を製造するもので、全国の事業所で初めて設置されました。

同法人では、これまでも島内飲食店等の廃食用油約9割を回収し、バイオディーゼル燃料を製造してきました。従来の製法では環境負荷や品質等で課題が多くありましたが、施設の実証開始に伴い、今後、再生可能エネルギーに関する最先端の取り組みとして注目が集まるとともに、持続的な社会モデルのひとつとして期待されます。



安定した農業経営を目指して 新規就農者懇談会が行われました



10月25日、平成28年度新規就農者懇談会が、種子島あらしホテルで行われました。

新規就農者懇談会は、新たに農業を始めてから概ね5年以内の方を対象に、今後の経営に役立つ基礎知識の習得と、意見交換を目的に、昨年度から開催されています。

今回出席した16名の新規就農者は、メモを取ったり、質問したりと、真剣に取り組んでいました。

